

電氣通信設備有効性評価基準（案）
（気象観測設備編）

平成21年3月

電気通信設備有効性評価基準（案）

（気象観測設備編）

目 次

1	目 的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	付 9 - 1
2	適用範囲・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	付 9 - 1
3	有効性要因の整理・・・・・・・・・・・・・・・・	付 9 - 1
4	有効性評価手法の検討・・・・・・・・・・・・	付 9 - 2
5	添付資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	付 9 - 2

電気通信設備有効性評価基準（案）

（気象観測設備編）

1 目的

本基準（案）は、電気通信設備の妥当性及び改善（改良）の可否等を総合的に評価・検証するにあたり、電気通信設備の重要度、目的および有効性の要因を洗い出し、点数化することにより有効性を評価することを目的とする。

2 適用範囲

本評価基準（案）は国土交通省が所管する道路に設置された気象観測設備に適用する。

3 有効性要因の整理

気象観測設備の目的が、「道路災害事象、気象状況、積雪寒冷地域における事象を把握し道路利用者等の安全かつ円滑な交通の確保及び適切な道路の維持管理」であることから、「道路利用者等の安全かつ円滑な交通の確保及び適切な道路の維持管理」に着目して整理を行うものとする。

（1） ガイドラインによる整備方針

気象観測設備設置時に目的として挙げられるその設備毎の設置場所に於ける整備方針は、その気象観測設備の必要性を示す指標となりうるため、有効性の項目としては重要な項目であると考えられる。特に気象観測設備設置は、設置場所の環境条件に応じて適切な場所に配備することにより、その有効性が発揮できる設備であり、有効性を判断する上で最も重要な指標として扱うものとする。なお、ここで述べる整備方針とは、設置当初の整備方針ではなく、有効性評価を実施する時点で再度見直しした整備方針とする。

（2） 活用方法

気象観測設備は、雨量、風速、路温、積雪、視程等を観測し、その結果が適切に活用され、設置の目的が実施できた時、初めてその有効性が発揮できる。従って、活用方法が明確となっている設備は、必然的に有効性が高いといえる。各設備ごと安全かつ円滑な交通の確保、適切な道路の維持管理実施に適した活用方法を評価する。

（3） 他機器との有効な関連

気象観測設備は、他の機器と関係を持って有効性を向上している場合が多い、例えば雨量計は、道路提供機器に雨量データを渡して道路利用者に雨量情報を提供している。他の観測装置に於いてもその特性を活かし、他機器と有効な関連を持ち気象状況、維持管理判断等により正確な情報源の要素となっている。有効性の重要度としては、装置単独による有効性でないため、他の評価項目よりも低位の有効性として扱うものとする。

（4） 活用実績・その他

前年度の評価項目「ガイドライン以外での整備方針」においては、地域事情（交通障害多発区間等）、情報の収集・提供（他機関の情報提供等）に分類して評価項目を掲げていたが、いずれもどのように活用されているかの要素の評価であるため、活用実績として具体的な運用実態を評価し評価内容を明確にした。ホームページ等で情報公開等、情報が広く提供できる項目を高得点に配分し、活用実績の評価を行う。

有効性要因を整理すると、以下のような項目に大別される。

- ・ガイドラインによる整備方針
- ・活用方法
- ・他機器との有効な関連

4 有効性評価手法の検討

有効性要因を整理したうえで、気象観測設備の設置場所毎にその有効性要因に沿って、得点化することにより評価を行う。

また、各々の評価点数に重み付けを行い、総合的な評価点数とする。

評価の各表は、付表 1.1～1.5 有効性評価表、付表 2.1～2.5 有効性評価点基準により行うこととする。

(1) ガイドラインによる整備方針

評価対象の気象観測設備の現在における整備目的、整備方針で評価を行う。また、重み付けについては、非常に重要な要素であるため 35 / 100 とする。

(2) 活用方法

評価対象の気象観測設備に於いて活用方法の目的を明確にして評価を行う。また、重み付けについては、重要度が高いため 30 / 100 とする。

(3) 他機器との有効な関連

評価対象の気象観測設備に於いて他機器との有効な関連について評価を行う。また、重み付けについては、比較的重要度が低いため 15 / 100 とする。

(4) 活用実績・その他

評価対象の気象観測設備に於いて情報提供の活用実績で評価を行う。また、重み付けについては、重要度を他機器との有効な関連よりやや高い設定とし、20 / 100 とする。

有効性評価の評価点の判断としては、「高」「低」の2段階とし、判断の閾値は50点とする。

有効性評価点による有効性の評価と判断を表1に示す。

表1 有効性評価の評価点判断

換算評価点	有効性の評価	判断の適用
0点～50点未満	「低」	移設又は廃止を検討
50点以上～100点	「高」	維持継続

5 添付資料

(1) 有効性評価表

- 付表 1.1 雨量計有効性評価表
- 付表 1.2 風向風速計有効性評価表
- 付表 1.3 路面凍結検知器有効性評価表
- 付表 1.4 積雪深計有効性評価表
- 付表 1.5 視程計有効性評価表

(2) 有効性評価点基準

- 付表 2.1 雨量計有効性評価点基準
- 付表 2.2 風向風速計有効性評価点基準
- 付表 2.3 路面凍結検知器有効性評価点基準
- 付表 2.4 積雪深計有効性評価点基準
- 付表 2.5 視程計有効性評価点基準

付表 1.1 雨量計有効性評価表

項目	No.	評価項目	評価配分点 A	評価結果			備考											
				回答欄 B	重み付け C	換算評価点 D (B/A×C)												
1. ガイドラインによる整備方針		<table border="1"> <thead> <tr> <th>整備方針</th> <th>評価点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事前通行規制区間もしくはその近傍に設置(注1)</td> <td>/</td> </tr> <tr> <td>①災害危険箇所もしくはその近傍に設置</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>②気象特性変化が著しい箇所</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table>	整備方針	評価点	事前通行規制区間もしくはその近傍に設置(注1)	/	①災害危険箇所もしくはその近傍に設置	9	②気象特性変化が著しい箇所	7	9	0	35					
		整備方針	評価点															
事前通行規制区間もしくはその近傍に設置(注1)	/																	
①災害危険箇所もしくはその近傍に設置	9																	
②気象特性変化が著しい箇所	7																	
※複数要因がある場合は評価点が高いものを一つ記入																		
(小計)			9	0														
2. 活用方法		<table border="1"> <thead> <tr> <th>活用方法</th> <th>評価点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事前通行規制区間の通行規制実施および解除の判断要素(注1)</td> <td>/</td> </tr> <tr> <td>①災害危険箇所の現地確認体制の判断要素</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>②箇所毎の降雨実績および管内の降雨状況の把握を行う要素</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>③道路利用者へ降雨情報を提供し、通行時の注意喚起を促す要素</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>④雨量予測を行う要素</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	活用方法	評価点	事前通行規制区間の通行規制実施および解除の判断要素(注1)	/	①災害危険箇所の現地確認体制の判断要素	9	②箇所毎の降雨実績および管内の降雨状況の把握を行う要素	7	③道路利用者へ降雨情報を提供し、通行時の注意喚起を促す要素	5	④雨量予測を行う要素	3	9	0	30	
		活用方法	評価点															
事前通行規制区間の通行規制実施および解除の判断要素(注1)	/																	
①災害危険箇所の現地確認体制の判断要素	9																	
②箇所毎の降雨実績および管内の降雨状況の把握を行う要素	7																	
③道路利用者へ降雨情報を提供し、通行時の注意喚起を促す要素	5																	
④雨量予測を行う要素	3																	
※複数要因がある場合は評価点が高いものを一つ記入																		
(小計)			9	0														
3. 他機器との有効な関連		<table border="1"> <thead> <tr> <th>他機器との有効な関連</th> <th>評価点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①情報提供機器と連動し雨量情報を道路利用者へ提供する</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>②雨量計による通行規制判定により、適確にCCTVを活用し現場状況の把握を行う</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	他機器との有効な関連	評価点	①情報提供機器と連動し雨量情報を道路利用者へ提供する	9	②雨量計による通行規制判定により、適確にCCTVを活用し現場状況の把握を行う	5	9	0	15							
		他機器との有効な関連	評価点															
①情報提供機器と連動し雨量情報を道路利用者へ提供する	9																	
②雨量計による通行規制判定により、適確にCCTVを活用し現場状況の把握を行う	5																	
※複数要因がある場合は評価点が高いものを一つ記入																		
(小計)			9	0														
4. 活用実績・その他		<table border="1"> <thead> <tr> <th>活用実績・その他</th> <th>評価点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①管理事務所のホームページ等で地点時間雨量、連続雨量等の公開を行っている</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>②関係機関(自治体、気象官署等)へ情報提供を行って連携を図っている</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>③他機関の気象情報と併せて雨量予測を行って活用している</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>④上記以外の活用実績他</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	活用実績・その他	評価点	①管理事務所のホームページ等で地点時間雨量、連続雨量等の公開を行っている	9	②関係機関(自治体、気象官署等)へ情報提供を行って連携を図っている	7	③他機関の気象情報と併せて雨量予測を行って活用している	5	④上記以外の活用実績他	3	9	0	20			
		活用実績・その他	評価点															
①管理事務所のホームページ等で地点時間雨量、連続雨量等の公開を行っている	9																	
②関係機関(自治体、気象官署等)へ情報提供を行って連携を図っている	7																	
③他機関の気象情報と併せて雨量予測を行って活用している	5																	
④上記以外の活用実績他	3																	
※複数要因がある場合は評価点が高いものを一つ記入																		
(小計)			9	0														
換算評価点合計			(100点換算評価)		0													
評価のまとめ																		

(注1)通行規制の判断要素となる雨量計は、有効性評価対象としない

付表 1.2 風向風速計有効性評価表

設置場所		形 式																
設備名称		定 格																
用 途		仕 様																
製造者名																		
製造年月																		
製造番号																		
評 価 日		評 価 者																
有効性評価の対象	対 象 ・ 対 象 外	対 象 外 の 理 由																
項 目	No.	評 価 項 目	評 価 配 分 点 A	評 価 結 果														
				回 答 欄 B	重 み 付 け C	換 算 評 価 点 D (B/A×C)	備 考											
1. ガイドラインによる整備方針		<table border="1"> <thead> <tr> <th>整備方針</th> <th>評価点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①風や越波による特殊通行規制区間</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>②橋梁、トンネル出口等、風による気象変化の激しい箇所</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>③過去に強風による通行障害発生箇所、あるいはその恐れがある箇所</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>※複数要因がある場合は評価点が高いものを一つ記入</p>	整備方針	評価点	①風や越波による特殊通行規制区間	9	②橋梁、トンネル出口等、風による気象変化の激しい箇所	7	③過去に強風による通行障害発生箇所、あるいはその恐れがある箇所	5	9		35					
	整備方針	評価点																
①風や越波による特殊通行規制区間	9																	
②橋梁、トンネル出口等、風による気象変化の激しい箇所	7																	
③過去に強風による通行障害発生箇所、あるいはその恐れがある箇所	5																	
		(小計)	9	0														
2. 活用方法		<table border="1"> <thead> <tr> <th>活用方法</th> <th>評価点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①道路管理者が迅速で的確な通行規制等を実施するための判断要素</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>②吹流し等を併用し、道路利用者への情報提供を行う。</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>※複数要因がある場合は評価点が高いものを一つ記入</p>	活用方法	評価点	①道路管理者が迅速で的確な通行規制等を実施するための判断要素	9	②吹流し等を併用し、道路利用者への情報提供を行う。	5	9		30							
	活用方法	評価点																
①道路管理者が迅速で的確な通行規制等を実施するための判断要素	9																	
②吹流し等を併用し、道路利用者への情報提供を行う。	5																	
		(小計)	9	0														
3. 他機器との有効な関連		<table border="1"> <thead> <tr> <th>他機器との有効な関連</th> <th>評価点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①情報提供機器と連動し測定データに基づいた情報を道路利用者に提供する</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>②越波検知器と併せて越波発生予測データの要素として活用。</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>③風向風速計の計測結果により近傍CCTVにより現場状況把握を行う。</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>※複数要因がある場合は評価点が高いものを一つ記入</p>	他機器との有効な関連	評価点	①情報提供機器と連動し測定データに基づいた情報を道路利用者に提供する	9	②越波検知器と併せて越波発生予測データの要素として活用。	5	③風向風速計の計測結果により近傍CCTVにより現場状況把握を行う。	5	9		15					
	他機器との有効な関連	評価点																
①情報提供機器と連動し測定データに基づいた情報を道路利用者に提供する	9																	
②越波検知器と併せて越波発生予測データの要素として活用。	5																	
③風向風速計の計測結果により近傍CCTVにより現場状況把握を行う。	5																	
		(小計)	9	0														
4. 活用実績・その他		<table border="1"> <thead> <tr> <th>活用実績・その他</th> <th>評価点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①長大橋等、風向風速変化の激しい箇所の注意喚起情報源として活用している</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>②豪雪地域等において地吹雪等の判定情報の要素として活用している</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>③他機関の気象情報と併せて広域な気象の判断要素として活用している</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>④関係機関(自治体、気象官署等)へ情報提供を行って連携を図っている</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>⑤上記以外の活用実績他</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>※複数要因がある場合は評価点が高いものを一つ記入</p>	活用実績・その他	評価点	①長大橋等、風向風速変化の激しい箇所の注意喚起情報源として活用している	9	②豪雪地域等において地吹雪等の判定情報の要素として活用している	7	③他機関の気象情報と併せて広域な気象の判断要素として活用している	5	④関係機関(自治体、気象官署等)へ情報提供を行って連携を図っている	5	⑤上記以外の活用実績他	3	9		20	
	活用実績・その他	評価点																
①長大橋等、風向風速変化の激しい箇所の注意喚起情報源として活用している	9																	
②豪雪地域等において地吹雪等の判定情報の要素として活用している	7																	
③他機関の気象情報と併せて広域な気象の判断要素として活用している	5																	
④関係機関(自治体、気象官署等)へ情報提供を行って連携を図っている	5																	
⑤上記以外の活用実績他	3																	
		(小計)	9	0														
換算評価点合計			(100点換算評価)	0														
評価のまとめ																		

付表 1.3 路面凍結検知器有効性評価表

設置場所			形 式															
設備名称			定 格															
用 途			仕 様															
製造者名																		
製造年月																		
製造番号																		
評 価 日			評価者															
有効性評価の対象	対 象 ・ 対象外		対象外の理由															
項 目	No.	評 価 項 目	評価配分点 A	評 価 結 果														
				回答欄 B	重み付け C	換算評価点 D (B/A×C)	備考											
1. ガイドラインによる整備方針		<table border="1"> <thead> <tr> <th>整備方針</th> <th>評価点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①気象特性変化が著しい箇所及び区間</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>②薬剤散布区間等、冬期路面管理重点区間</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>※複数要因がある場合は評価点が高いものを一つ記入</p>	整備方針	評価点	①気象特性変化が著しい箇所及び区間	9	②薬剤散布区間等、冬期路面管理重点区間	7	9		35							
	整備方針	評価点																
①気象特性変化が著しい箇所及び区間	9																	
②薬剤散布区間等、冬期路面管理重点区間	7																	
		(小計)	9	0														
2. 活用方法		<table border="1"> <thead> <tr> <th>活用方法</th> <th>評価点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①効率的な薬剤散布作業の実施判断要素</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>②道路利用へ安全運転の注意換気を促す情報提供の要素</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>※複数要因がある場合は評価点が高いものを一つ記入</p>	活用方法	評価点	①効率的な薬剤散布作業の実施判断要素	9	②道路利用へ安全運転の注意換気を促す情報提供の要素	5	9		30							
	活用方法	評価点																
①効率的な薬剤散布作業の実施判断要素	9																	
②道路利用へ安全運転の注意換気を促す情報提供の要素	5																	
		(小計)	9	0														
3. 他機器との有効な関連		<table border="1"> <thead> <tr> <th>他機器との有効な関連</th> <th>評価点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①情報提供機器と連動し、路面凍結情報を道路利用者に提供する</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>②CCTVを併用して路面状況判定精度の向上を図っている</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>※複数要因がある場合は評価点が高いものを一つ記入</p>	他機器との有効な関連	評価点	①情報提供機器と連動し、路面凍結情報を道路利用者に提供する	9	②CCTVを併用して路面状況判定精度の向上を図っている	5	9		15							
	他機器との有効な関連	評価点																
①情報提供機器と連動し、路面凍結情報を道路利用者に提供する	9																	
②CCTVを併用して路面状況判定精度の向上を図っている	5																	
		(小計)	9	0														
4. 活用実績・その他		<table border="1"> <thead> <tr> <th>活用実績・その他</th> <th>評価点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①測定データを蓄積し、凍結予測を行い薬剤散布の効率的タイミングを図る等の道路管理を行っている</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>②管理事務所のホームページ等で路面凍結状態の公開を行っている</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>③他機関の気象情報と併せて広域な気象の判断要素として活用している</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>④関係機関(自治体、気象官署等)へ情報提供を行って連携を図っている</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>⑤上記以外の活用実績他</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>※複数要因がある場合は評価点が高いものを一つ記入</p>	活用実績・その他	評価点	①測定データを蓄積し、凍結予測を行い薬剤散布の効率的タイミングを図る等の道路管理を行っている	9	②管理事務所のホームページ等で路面凍結状態の公開を行っている	7	③他機関の気象情報と併せて広域な気象の判断要素として活用している	5	④関係機関(自治体、気象官署等)へ情報提供を行って連携を図っている	5	⑤上記以外の活用実績他	3	9		20	
	活用実績・その他	評価点																
①測定データを蓄積し、凍結予測を行い薬剤散布の効率的タイミングを図る等の道路管理を行っている	9																	
②管理事務所のホームページ等で路面凍結状態の公開を行っている	7																	
③他機関の気象情報と併せて広域な気象の判断要素として活用している	5																	
④関係機関(自治体、気象官署等)へ情報提供を行って連携を図っている	5																	
⑤上記以外の活用実績他	3																	
		(小計)	9	0														
			換算評価点合計 (100点換算評価)		0													
評価のまとめ																		

付表 1.4 積雪深計有効性評価表

設置場所		形 式																									
設備名称		定 格																									
用 途		仕 様																									
製造者名																											
製造年月																											
製造番号																											
評 価 日		評 価 者																									
有効性評価の対象	対 象 ・ 対 象 外	対 象 外 の 理 由																									
項 目	No.	評 価 項 目	評 価 配 分 点 A	評 価 結 果																							
				回 答 欄 B	重 み 付 け C	換 算 評 価 点 D (B/A×C)	備 考																				
1. ガイドラインによる整備方針		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">整備方針</th> <th>評価点</th> </tr> <tr> <td>①雪に起因する通行規制等が発生する箇所</td> <td></td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>②除雪作業の効率的な実施判断を必要とする区間</td> <td></td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>③峠等気象条件の変化が著しく道路利用者への情報提供が必要な区間</td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>④積雪寒冷地域の整備</td> <td></td> <td>3</td> </tr> </table> <p>※複数要因がある場合は評価点が高いものを一つ記入</p>	整備方針		評価点	①雪に起因する通行規制等が発生する箇所		9	②除雪作業の効率的な実施判断を必要とする区間		7	③峠等気象条件の変化が著しく道路利用者への情報提供が必要な区間		5	④積雪寒冷地域の整備		3	9		35							
	整備方針		評価点																								
①雪に起因する通行規制等が発生する箇所		9																									
②除雪作業の効率的な実施判断を必要とする区間		7																									
③峠等気象条件の変化が著しく道路利用者への情報提供が必要な区間		5																									
④積雪寒冷地域の整備		3																									
		(小計)	9	0																							
2. 活用方法		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">活用方法</th> <th>評価点</th> </tr> <tr> <td>①雪に起因する通行規制(雪崩・地ふぶき等)実施の判断要素</td> <td></td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>②除雪、薬剤散布等の作業実施判断要素</td> <td></td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>③道路利用者への情報提供要素</td> <td></td> <td>5</td> </tr> </table> <p>※複数要因がある場合は評価点が高いものを一つ記入</p>	活用方法		評価点	①雪に起因する通行規制(雪崩・地ふぶき等)実施の判断要素		9	②除雪、薬剤散布等の作業実施判断要素		7	③道路利用者への情報提供要素		5	9		30										
	活用方法		評価点																								
①雪に起因する通行規制(雪崩・地ふぶき等)実施の判断要素		9																									
②除雪、薬剤散布等の作業実施判断要素		7																									
③道路利用者への情報提供要素		5																									
		(小計)	9	0																							
3. 他機器との有効な関連		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">他機器との有効な関連</th> <th>評価点</th> </tr> <tr> <td>①気温計、風速計等と複合的に用いて積雪の状況を判断している</td> <td></td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>②CCTVを併用して積雪状況把握の向上を図っている。</td> <td></td> <td>5</td> </tr> </table> <p>※複数要因がある場合は評価点が高いものを一つ記入</p>	他機器との有効な関連		評価点	①気温計、風速計等と複合的に用いて積雪の状況を判断している		9	②CCTVを併用して積雪状況把握の向上を図っている。		5	9		15													
	他機器との有効な関連		評価点																								
①気温計、風速計等と複合的に用いて積雪の状況を判断している		9																									
②CCTVを併用して積雪状況把握の向上を図っている。		5																									
		(小計)	9	0																							
4. 活用実績・その他		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">活用実績・その他</th> <th>評価点</th> </tr> <tr> <td>①積雪深計測結果により、除雪、薬剤散布の出動計画を立て効率的に道路管理行っている</td> <td></td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>②管理事務所等のホームページ等で積雪深の公開を行っている</td> <td></td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>③他機関の気象情報と併せて広域な積雪の判断要素として活用している</td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>④豪雪地域等において地ふぶき等の判定情報の要素として活用している</td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>⑤関係機関(自治体、気象官署等)へ情報提供を行って連携を図っている</td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>⑥上記以外の活用実績他</td> <td></td> <td>3</td> </tr> </table> <p>※複数要因がある場合は評価点が高いものを一つ記入</p>	活用実績・その他		評価点	①積雪深計測結果により、除雪、薬剤散布の出動計画を立て効率的に道路管理行っている		9	②管理事務所等のホームページ等で積雪深の公開を行っている		7	③他機関の気象情報と併せて広域な積雪の判断要素として活用している		5	④豪雪地域等において地ふぶき等の判定情報の要素として活用している		5	⑤関係機関(自治体、気象官署等)へ情報提供を行って連携を図っている		5	⑥上記以外の活用実績他		3	9		20	
	活用実績・その他		評価点																								
①積雪深計測結果により、除雪、薬剤散布の出動計画を立て効率的に道路管理行っている		9																									
②管理事務所等のホームページ等で積雪深の公開を行っている		7																									
③他機関の気象情報と併せて広域な積雪の判断要素として活用している		5																									
④豪雪地域等において地ふぶき等の判定情報の要素として活用している		5																									
⑤関係機関(自治体、気象官署等)へ情報提供を行って連携を図っている		5																									
⑥上記以外の活用実績他		3																									
		(小計)	9	0																							
換算評価点合計			(100点換算評価)		0																						
評 価 の ま と め																											

付表 1.5 視程計有効性評価表

設置場所		形 式	
設備名称		定 格	
用 途		仕 様	
製造者名			
製造年月			
製造番号			
評 価 日		評価者	
有効性評価の対象	対 象 ・ 対象外	対象外の理由	

項 目	No.	評 価 項 目	評価配分点 A	評 価 結 果																				
				回答欄 B	重み付 けC	換算 評価点 D (B/A×C)	備考																	
1. ガイドラインによる整備方針		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">設置場所・周辺環境</th> <th>評価点</th> </tr> <tr> <td>①濃霧、ふぶき、地ふぶきによる視程障害の発生頻度が高い箇所</td> <td></td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>②濃霧、ふぶき等による視程障害がドライバーに影響を及ぼす可能性のある箇所</td> <td></td> <td>5</td> </tr> </table> <p>※複数要因がある場合は評価点が高いものを一つ記入</p>	設置場所・周辺環境		評価点	①濃霧、ふぶき、地ふぶきによる視程障害の発生頻度が高い箇所		9	②濃霧、ふぶき等による視程障害がドライバーに影響を及ぼす可能性のある箇所		5	9		35										
	設置場所・周辺環境		評価点																					
①濃霧、ふぶき、地ふぶきによる視程障害の発生頻度が高い箇所		9																						
②濃霧、ふぶき等による視程障害がドライバーに影響を及ぼす可能性のある箇所		5																						
		(小計)	9	0																				
2. 活用方法		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">活用方法</th> <th>評価点</th> </tr> <tr> <td>①道路管理者が迅速で的確な通行規制や防災体制の確立を図るための判断参考要素</td> <td></td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>②道路利用者に情報提供を行うことで安全走行の注意喚起を促す要素</td> <td></td> <td>5</td> </tr> </table> <p>※複数要因がある場合は評価点が高いものを一つ記入</p>	活用方法		評価点	①道路管理者が迅速で的確な通行規制や防災体制の確立を図るための判断参考要素		9	②道路利用者に情報提供を行うことで安全走行の注意喚起を促す要素		5	9		30										
	活用方法		評価点																					
①道路管理者が迅速で的確な通行規制や防災体制の確立を図るための判断参考要素		9																						
②道路利用者に情報提供を行うことで安全走行の注意喚起を促す要素		5																						
		(小計)	9	0																				
3. 他機器との有効な関連		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">他機器との有効な関連</th> <th>評価点</th> </tr> <tr> <td>①降雪計、風速計等と複合的に用いて地ふぶき等の判断要素としている</td> <td></td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>②CCTVを併用して視程状況の把握の向上を図っている</td> <td></td> <td>5</td> </tr> </table> <p>※複数要因がある場合は評価点が高いものを一つ記入</p>	他機器との有効な関連		評価点	①降雪計、風速計等と複合的に用いて地ふぶき等の判断要素としている		9	②CCTVを併用して視程状況の把握の向上を図っている		5	9		15										
	他機器との有効な関連		評価点																					
①降雪計、風速計等と複合的に用いて地ふぶき等の判断要素としている		9																						
②CCTVを併用して視程状況の把握の向上を図っている		5																						
		(小計)	9	0																				
4. 活用実績・その他		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">活用実績・その他</th> <th>評価点</th> </tr> <tr> <td>①管理事務所等のホームページ等で視程の公開を行っている</td> <td></td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>②霧多発地域において、濃霧発生情報提供の要素として活用している</td> <td></td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>③豪雪地域等において地吹雪等の判定情報の要素として活用している</td> <td></td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>④関係機関(自治体、気象官署等)へ情報提供を行って連携を図っている</td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>⑤上記以外の活用実績他</td> <td></td> <td>3</td> </tr> </table> <p>※複数要因がある場合は評価点が高いものを一つ記入</p>	活用実績・その他		評価点	①管理事務所等のホームページ等で視程の公開を行っている		9	②霧多発地域において、濃霧発生情報提供の要素として活用している		7	③豪雪地域等において地吹雪等の判定情報の要素として活用している		7	④関係機関(自治体、気象官署等)へ情報提供を行って連携を図っている		5	⑤上記以外の活用実績他		3	9		20	
	活用実績・その他		評価点																					
①管理事務所等のホームページ等で視程の公開を行っている		9																						
②霧多発地域において、濃霧発生情報提供の要素として活用している		7																						
③豪雪地域等において地吹雪等の判定情報の要素として活用している		7																						
④関係機関(自治体、気象官署等)へ情報提供を行って連携を図っている		5																						
⑤上記以外の活用実績他		3																						
		(小計)	9	0																				
換算評価点合計			(100点換算評価)		0																			

評価のまとめ	
--------	--

付表 2.1 雨量計有効性評価点基準

No.	評価項目	配分点	評価点									
			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
			低い ← 有効性 → 高い									
1	ガイドラインによる整備方針	9	該当無し								②気象特性変化が著しい箇所に設置	①災害危険箇所もしくはその近傍に設置
2	活用方法	9	該当無し			④雨量予測を行う要素として活用		③道路利用者へ降雨情報を提供し、通行時の注意喚起を促す要素として活用		②箇所毎の降雨実績および管内の降雨状況の把握を行う要素として活用		①災害危険箇所の現地確認体制の判断要素として活用
3	他機器との有効な関連	9	該当無し					②雨量計による通行規制判定により、適確にCCTVを活用し現場状況の把握を行っている				①情報提供機器と連動し雨量情報を道路利用者へ提供している
4	活用実績・その他	9	該当無し			④上記以外の活用実績他		③他機関の気象情報と併せて雨量予測を行って活用している		②関係機関(自治体、気象官署等)へ情報提供を行って連携を図っている		①管理事務所のホームページ等で地点時間雨量、連続雨量等の公開を行っている

付表 2.2 風向風速計有効性評価点基準

No.	評価項目	配分点	評価点										
			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
			低い ← 有効性 → 高い										
1	ガイドラインによる整備方針	9	該当無し						③過去に強風による通行障害発生箇所、あるいはその恐れがある箇所に設置		②橋梁、トンネル出口等、風による気象変化の激しい箇所に設置		①風や越波による特殊通行規制区間に設置
2	活用方法	9	該当無し						②吹流し等を併用し、道路利用者への情報提供を行っている				①道路管理者が迅速で的確な通行規制等を実施するための判断要素として活用
3	他機器との有効な関連	9	該当無し						②越波検知器と併せて越波発生予測データの要素として活用している ③風向風速計の計測結果により近傍CCTVにより現場状況把握を行う。				①情報提供機器と連動し測定データに基づいた情報を道路利用者に提供している
4	活用実績・その他	9	該当無し			⑤上記以外の活用実績他			③他機関の気象情報と併せて広域な気象の判断要素として活用している ④関係機関(自治体、気象官署等)へ情報提供を行って連携を図っている		②豪雪地域等において地吹雪等の判定情報の要因として活用している		①長大橋等、風向風速変化の激しい箇所の注意喚起情報源として活用している

付表 2.3 路面凍結検知器有効性評価点基準

No.	評価項目	配分点	評価点									
			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
			低い ← 有効性 → 高い									
1	ガイドラインによる整備方針	9	該当無し								②薬剤散布区間等、冬期路面管理重点区間に設置	①気象特性変化が著しい箇所及び区間に設置
2	活用法	9	該当無し						②道路利用へ安全運転の注意喚起を促す情報提供の要素として活用			①効率的な薬剤散布作業の実施判断要素として活用
3	他機器との有効な関連	9	該当無し						②CCTVを併用して路面状況判定精度の向上を図っている。			①情報提供機器と連動し、路面凍結情報を道路利用者に提供している
4	活用実績・その他	9	該当無し			⑤上記以外の活用実績他			③他機関の気象情報と併せて広域な気象の判断要素として活用している ④関係機関(自治体、気象官署等)へ情報提供を行って連携を図っている	②管理事務所のホームページ等で路面凍結状態の公開を行っている		①測定データを蓄積し、凍結予測を行い薬剤散布の効率的タイミングを図る等の道路管理している

付表 2.4 積雪深計有効性評価点基準

No.	評価項目	配分点	評価点										
			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
			低い ← 有効性 → 高い										
1	ガイドラインによる整備方針	9	該当無し			④積雪寒冷地域の整備のため設置			③峠等気象条件の変化が著しく道路利用者への情報提供が必要な区間に設置		②除雪作業の効率的な実施判断を必要とする区間に設置		①雪に起因する通行規制等が発生する箇所に設置
2	活用法	9	該当無し						③道路利用者への情報提供要素として活用		②除雪、薬剤散布等の作業実施判断要素として活用		①雪に起因する通行規制(雪崩・地ふぶき等)実施の判断要素として活用
3	他機器との有効な関連	9	該当無し						②CCTVを併用して積雪状況把握の向上を図っている。				①気温計、風速計等と複合的に用いて積雪の状況を判断している
4	活用実績・その他	9	該当無し			⑥上記以外の活用実績他			③他機関の気象情報と併せて広域な気象の判断要素として活用している ④豪雪地域等において地ふぶき等の判定情報の要因として活用している ⑤関係機関(自治体、気象官署等)へ情報提供を行っている		②管理事務所等のホームページ等で積雪深の公開を行っている		①積雪深計測結果により、除雪、薬剤散布の出動計画を立て効率的に道路管理を行っている

付表 2.5視程計有効性評価点基準

No.	評価項目	配分点	評価点												
			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			
			低い ← 有効性 → 高い												
1	ガイドラインによる整備方針	9	該当無し							②濃霧、ふぶき等による視程障害がドライバーに影響を及ぼす可能性のある箇所に設置					①濃霧、ふぶき、地ふぶきによる視程障害の発生頻度が高い箇所に設置
2	活用方法	9	該当無し							②道路利用者に情報提供を行うことで安全走行の注意喚起を促す要素として活用					①道路管理者が迅速で的確な通行規制や防災体制の確立を図るための判断参考要素として活用
3	他機器との有効な関連	9	該当無し							②CCTVを併用して視程状況の把握の向上を図っている					①降雪計、風速計等と複合的に用いて地ふぶき等の判断参考要素としている
4	活用実績・その他	9	該当無し			⑤上記以外の活用実績他				④関係機関(自治体、気象官署等)へ情報提供を行っている			②霧多発地域において、濃霧発生情報提供の要素として活用している ③豪雪地域等において地吹雪等の判定情報の要因として活用している		①管理事務所等のホームページ等で視程の公開を行っている